

平成 23 年 8 月 10 日

受益者の皆様へ

T&D アセットマネジメント株式会社

欧米市場の下落と「T & Dワールドコモディティ株投資1106 (限定通貨選択 - 米州大陸通貨 -)」への影響について

足許の市場動向

8月8日の米株式市場は、投資家のリスク回避の動きからパニック的に売りがかさむ展開で、ニューヨークダウ工業株 30 種平均は前週末比 634.76 ドルの急落となり、10,809.85 米ドルで取引を終えました。下落幅は2008年12月1日(679.95ドル)以来の大きさで、NYダウの終値は昨年10月4日以来の低水準となりました。

8月に入り、世界の株式市場は非常に不安定な動きとなっています。株安の世界的な連鎖は、欧米での財政債務問題に加え、米国中心に急速に世界景況感が悪化していることが主な要因です。米国では、懸案だった連邦債務上限引き上げ問題が2日に決着したものの、5日米国株式市場取引終了後にスタンダード・アンド・プアーズ(S & P)が、米国債の長期信用格付けを引き下げました。一方、欧州では、債務危機がイタリアやスペインに波及するとの懸念が広がっていました。8日には欧州中央銀行(ECB)がスペインとイタリアの国債を買い入れたものの、債務危機の波及を阻止することはできないとの不安を沈静化するにはいたっていません。

こうした中、8月8日の日本時間朝方にG7は緊急共同声明を公表しましたが、具体的な政策に言及していないために市場にサプライズを与えるものにはならず、むしろ、残された政策メニューの数の少なさや、政策実行のスピード感の欠如を印象付けるものとなりました。8月8日の株安は、日本を含むアジアから欧州、米国へと、世界を一周し、資金逃避の対象先にされることが多い金の先物は1オンス=1,700米ドルを突破し、史上最高値を更新しました。

また、8日のニューヨーク外国為替市場では、米欧の債務問題と景気後退(リセッション)をめぐる懸念で安全資産への逃避が強まり、円とスイスフランが大幅に上昇しました。米ドル/円は一時、1米ドル=77円台前半まで下落しました。

今後の見通し

世界の株式市場は、欧米の債務問題および景気減速への懸念などを背景に足許で不透明感が急速に高まっています。このような環境の中、原油先物価格や主要商品先物指数などが軒並み大幅下落となり、エネルギーや素材関連銘柄が幅広く売られる展開となりました。とりわけ、モザイクやディアーなどの農業関連銘柄は、当ファンドでの保有上位銘柄であった為、マイナスのインパクトが大きく出る結果となりました。

今後の見通しとしては、短期的には、投資家センチメントの悪化を受けたりスク・オフの動きを背景に、株式を含めたリスク資産の不透明な展開を予想しています。その一方で、中期的には、商品の需給逼迫を背景とした価格の上昇をメインシナリオとしていることに変わりはなく、関連株価の上昇を予想しています。

以上

当社ファンドへの影響

ファンド名	平成 23 年 8 月 8 日 基準価額 (円)	平成 23 年 8 月 9 日 基準価額 (円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
T & Dワールドコモディティ株投資1106 (限定通貨選択 - 米州大陸通貨 -)	8,737	7,899	838	9.59

市況情報

(小数点第 2 位以下四捨五入)

	平成 23 年 8 月 5 日	平成 23 年 8 月 8 日	騰落率 (%)
S & P G S C I コモディティ インデックス (エクセスリターン)	474.88	456.18	3.94

海外の市場については基準価額への影響を考慮し、8月5日から8月8日としています。

	平成 23 年 8 月 8 日	平成 23 年 8 月 9 日	騰落率 (%)
カナダドル(*1)	79.61	77.92	2.12
メキシコペソ(*2)	6.47	6.27	3.09
ブラジルリアル(*3)	49.22	47.24	4.02

(*1) 為替レートは三菱東京 UFJ 銀行の対顧客公示相場の仲値(TTM)

(*2) 為替レートはゴールドマンサックス証券の対顧客公示相場の仲値

(*3) ブラジルリアルの為替レートは、前NY営業日のNY16:00 頃のNDFレート(リアル/米ドル)と当日のTTM(米ドル/円)とのクロスレートを表示しています。

出所: ブルームバーグ

文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。海外株式市場のデータは基準価額への反映を考慮して1営業日前のものを使用しています。

ご留意いただきたい事項

- ◆ 本資料は受益者の皆様に T&D アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載した情報は、当資料作成時点におけるものであり、将来の運用成果を予想あるいは保証するものではありません。
- ◆ 投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- ◆ 投資信託はリスクを含む商品であり、株式および公社債等値動きのある証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。
- ◆ 運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。